

## 【大阪コミュニティ財団とは】

大阪コミュニティ財団は、大阪商工会議所が企業や個人の社会貢献活動を支援するため、アメリカで誕生し発展しているコミュニティ財団を視察・研究し、財団の設立に必要となる基本財産1億円を拠出して、1991年11月12日に通商産業省（現経済産業省）の設立許可を得て設立しました。わが国初のコミュニティ財団で、大阪府と大阪市からも各2500万円の運営基金を頂戴し、支援いただいています。

今般の公益法人制度改革により、内閣府の認定を受けて2010年3月1日に公益財団法人に移行しました。

## 【仕組み・特徴】

大阪コミュニティ財団は、民間非営利団体（NPO）の事業活動に助成金を出す、いわゆる「助成財団」です。

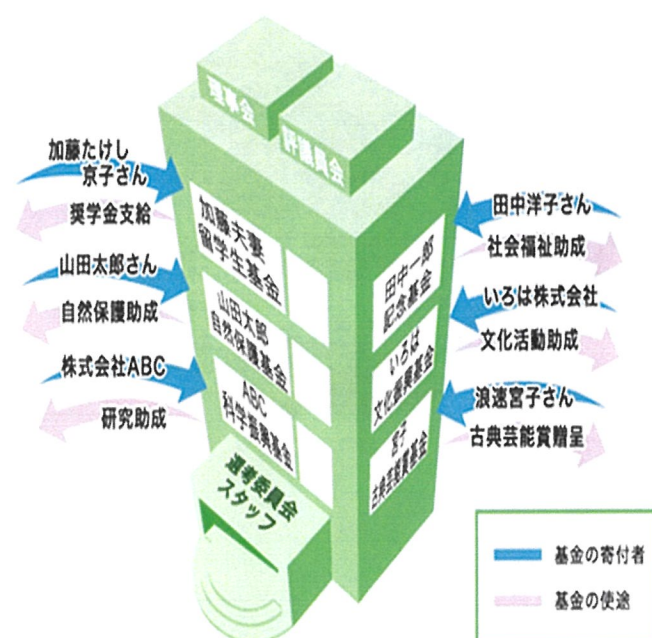
その仕組みは、社会のお役に立ちたいとお考えの個人や企業等の篤志家からご寄付を頂戴し、個人の方は「マイ基金」(My Fund)として、企業・団体の方からは「アワー基金」(Our Fund)として、それを基金という形で管理し、寄付者のご希望、たとえば、親をがんで亡くしたのでがん研究に役立ててほしい、あるいは高齢者の福祉に役立ててほしい、または東南アジアの学校建設に役立ててほしい、といったお志に沿って、公益事業を行っている団体等に助成金を支給しています。

(下図参照)

個人や小規模の法人では自分で財団を作って運営するのは、コストや手間がかかるので、それを当財団が代わって行うということで、当財団は、寄付者と助成先をつなぐ役割、橋渡し役を担っています。

なお、助成先については、寄付者のご意思をできるだけ尊重し、当財団の選考委員会の審議を経て、理事会で決定します。

当財団の特色は、マンション型の財団であるということ。各基金には好きな名前を付けることができるので、いわばマンションの各部屋に表札があるので、同じようなもので、当財団は、マンションの管理人のような役割を担っているといえます。



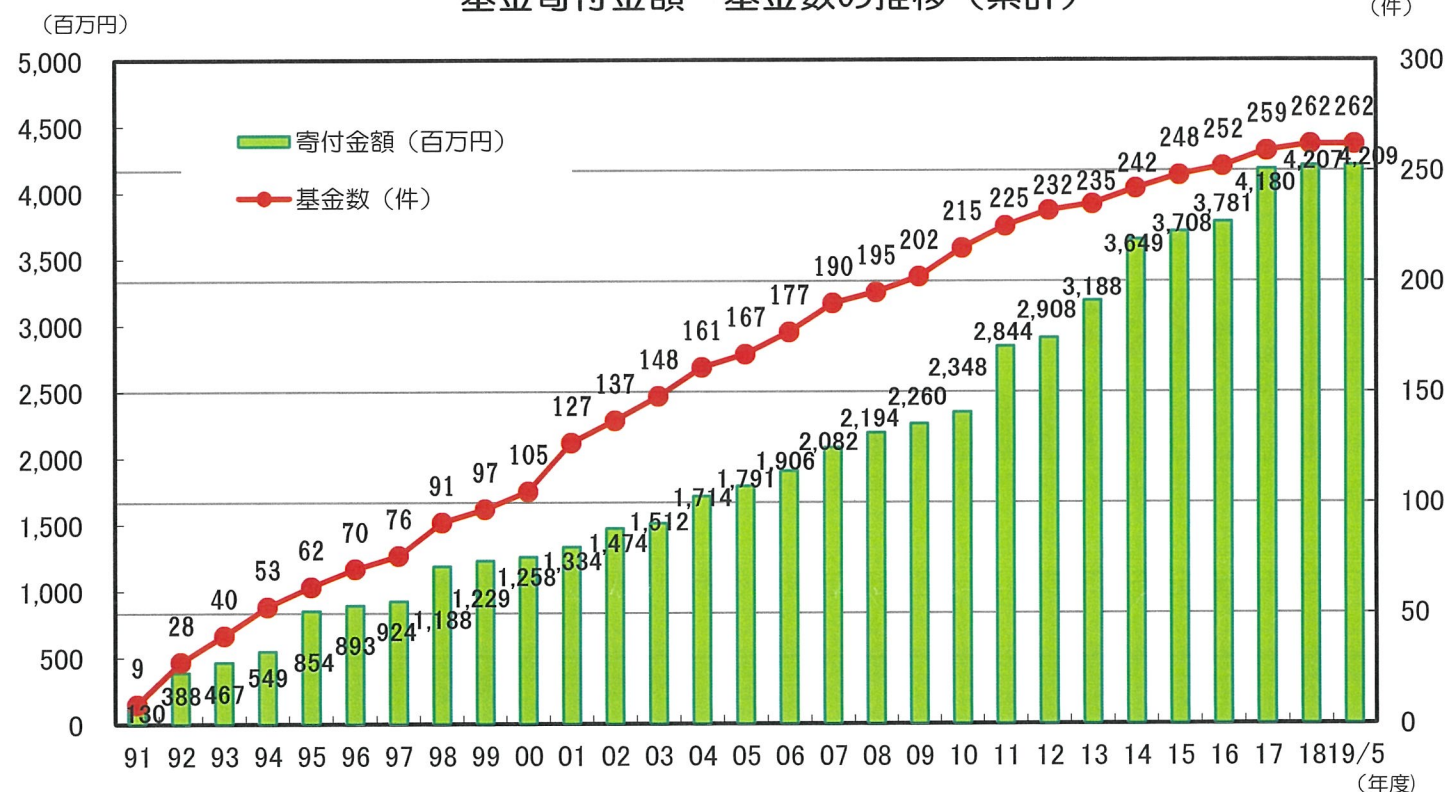
## 【基金】

前述のとおり、当財団では、いただいた寄付金は基金として管理しています。2019年5月末日現在で、262基金、累計金額42億886万円にのびています。

その内訳をみますと、個人の方の寄付による基金が187(71%)、法人・団体からが75(29%)

となっており、寄付累計額では個人が30億1,392万円(72%)、法人・団体が11億9,473万円(28%)です。また、寄付者の地域分布(累計寄付金額)をみますと、大阪府が74%で最も多く、以下東京都8%、群馬県5%、福岡県および三重県3%などとなっています。

基金寄付金額・基金数の推移(累計)



## 【助成】

### ・助成対象事業・団体

当財団の助成対象事業・団体は、1年以上の活動実績を有する非営利団体で、法人格の有無は問いません。また、翌年4月1日から翌々年3月31日までの間に、実施を予定している公益に資する事業が対象となります。

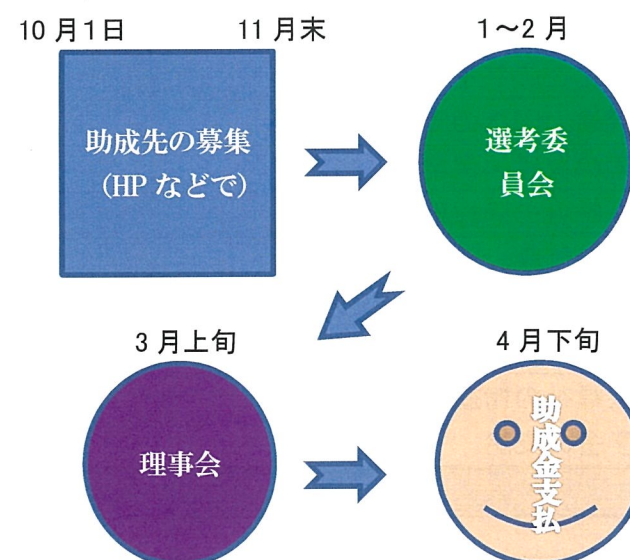
### ・助成対象分野

当財団は多目的助成財団であり、科学技術の振興、芸術文化の向上、国際交流の推進、環境の保全や国土の緑化、社会福祉の増進など、公益目的に合致するすべての分野が助成対象となります。また、顕彰や奨学金の支給も行っています。

### ・助成対象地域

助成先は大阪・関西を中心に国内全域で、海外も可能です。

### ・スケジュール



### ・募集方法

当財団のホームページに募集内容、助成申請書等を9月下旬にアップするとともに、全国のNPOセンターに「助成申請者のためのガイド」送付します。

